

研修部会 活動計画概要

平成26年1月16日

がんにより死亡する人の減少
がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万人当たり)を
平成29年度までに20%減少させる。

すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上

部会が担当する分野の課題と目標

【目標】あるべき姿勢の高いチーム医療が医療を提供している

①各職種ごとに、がん医療に携わる人材（スペシャリスト）がいる。
②各職種ごとに、スペシャリストを中心に高いレベルの研修が実施できている。
③各職種ごとに、年間の研修受講数が確実に増加している。

数者讀者との研究機関と、医療機関と、年間各職種と、指標：中期目標：指標

長期目標：指標：「知っておくべきがん医療の知識」を持った医療職が
がん医療を提供している

測定方法:	測定方法: 未定
-------	----------

目標
アウトカム
毎の施策

【アウトカム目標1】継続的に、質の高い研修が行われている

【アウトカム目標2】

ト目標
アウトプット
施策毎の

毎年、各拠点病院にて開催する
(年3回開催する)

毎年、各拠点病院にて開催する
(放射線療法3回、放
射線療法3回)

各拠点病院にて年1回開催する

各拠点病院にて年1回開催する

(1)緩和薬物療法認定薬剤師制度活用、緩和医療学会での単位取得を視野に入れた薬剤師向けの研修会を企画し実施する。

(2)がん専門薬剤師制度(病院薬剤師向け)の活用、沖縄県独自のがん研修修了薬剤師制度を策定する。

これまでの部会活動についてポスターを作成し、県内の「薬剤師会、細胞学会、看護研究学会など」でポスター展示を行う。又、県医師会総会でポスターセッションで報告する。

各医療機関
に調査を实
施し、疾患
別、病院別
でまとめ、
協議会HP
へ公開する

各拠点病院
主催の研修
会の日時、
内容を作成
し協議会HP
へ公開する。

施策
アクション

【施策1】医師向けに早期診断のための研修を開催する

【施策2】
医師向けに
放射線及び
化学療法の
副作用対策
も含む研修
会を開催す

【施策3】

【施策4】放射線技師
対策を対象
とした研修
を開催す
る

【施策5】
検査技師を
対象とした
研修会を開
催する。

【施策6】
認定薬剤師制度の
活用、薬剤師向けの
研修会実施

【施策7】協議会活動

【施策8】
研修会の人
材バンク
(講演者リ
スト)の作
成

【施策9】
拠点病院主
催の研修会
スケジュール
の作成

ワーク
シート1で
導き出さ
れた対策
項目

【対策項目1】
職種別医療者育成

【対策項目2】 運営資源の充実化

がん診療連携拠点病院研修会

化学療法と その副作用について

日時 平成26年9月17日(水)
19:00~21:00

場所 那覇市立病院 3階講堂
那覇市古島2-31-1

対象 がん医療に関わるすべての方

テーマ

申込
不要

参加費
無料

「分子標的薬
抗EGFR抗体による皮膚症状への対応」

講師：山本 雄一 氏
(琉球大学医学部附属病院皮膚科 講師)

主催：地方独立行政法人那覇市立病院

共催：沖縄県がん診療連携協議会・研修部会、県立中部病院、県立宮古病院
琉球大学医学部附属病院、県立八重山病院、北部地区医師会病院

お問い合わせ：那覇市立病院がん診療連携室 上里

TEL：098-884-5111（内283） FAX：098-886-5502

平成26年10月1日

地域がん診療連携拠点病院医療講演会
「化学療法とその副作用について」 報告書

日 時：平成26年9月17日（木） 19時～20時30分

場 所：那覇市立病院 3階講堂

参加者：参加者35名（アンケート回収31名）

院内：26名（医師・看護師・管理栄養士・MSW）

院外： 9名（看護師・薬剤師）

研修会内容

「分子標的薬－抗 EGFR 抗体による皮膚症状への対応－」

対象者：医療従事者

講 師：山本 雄一先生（琉球大学医学部附属病院皮膚科 講師）

主 催：地域がん診療連携拠点病院那覇市立病院

共 催：沖縄県がん診療連携協議会・研修部会、琉球大学医学部附属病院、
沖縄県立中部病院、北部地区医師会病院、沖縄県立宮古病院、沖縄県立八重山病院

アンケート結果・・・別紙



平成26年度「分子標的薬－抗EGFR抗体による皮膚症状への対応－」アンケート集計結果

平成26年9月17日

参加者35名（アンケート回収28名：回収率 80%）

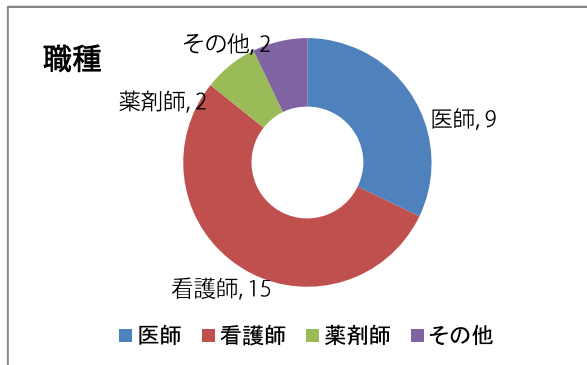
院内：26名（医師11名、看護師11名、その他4名）

院外： 9名（看護師7名、薬剤師2名）

1. 職 種

医師	9
看護師	15
薬剤師	2
その他	2

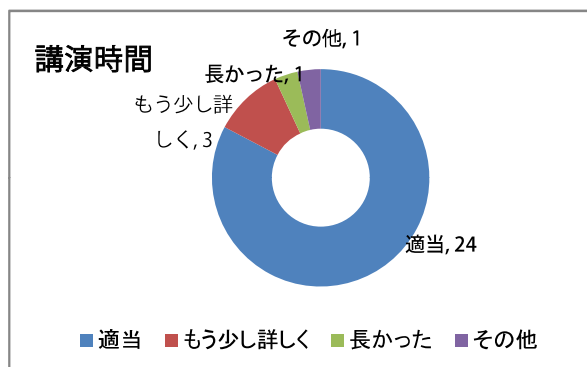
その他：管理栄養士 1名



2. 講演時間

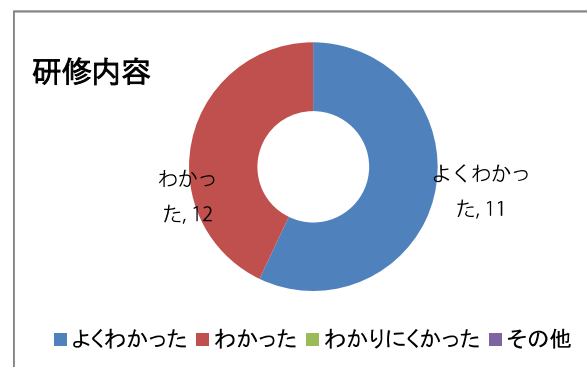
適当	24
もう少し詳しく	3
長かった	1
その他	1

その他：開始時間をもう少し早くしてほしい



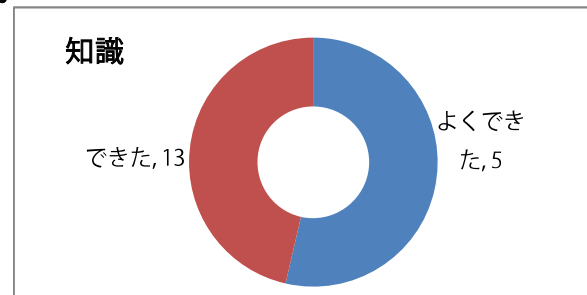
3. 研修内容について

よくわかった	16
わかった	12
わかりにくかった	0
その他	0



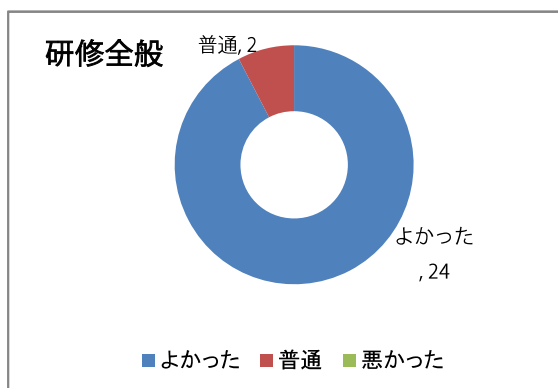
4. 知識を深めることができたか

よくできた	15
できた	13
あまりできなかった	0
その他	0



5. 研修全般

よかった	24
普通	2
悪かった	0



6. 受講しての感想、感じたことなどをご自由にご記入ください。

- ・爪周囲炎の予防に爪の切り方が大事など具体的な対処法を学ぶことができて良かったことと化学療法による皮膚障害は、こじれる前に皮膚科医にコンサルトすることが重要だということがわかって良かったです。
- ・具体的な指導のポイントや患者さんをみる上での注意点がまとまっていてわかりやすかった。
- ・わかりやすい内容で日頃の業務の見直しやマニュアル作成に役立てられる。とても良かったです。
- ・分子標的薬の中でも皮膚症状が出やすい、出にくいというものを区切りできて良かったです。
- ・爪周囲炎の予防。EGFR阻害薬の皮膚炎への予防方法。とても参考になりました。
- ・予防投与の必要性を感じていたし、実際に実践してみようと思う。
- ・時施設には皮膚科がないので、ポイントを絞った内容でわかりやすかったです。
- ・爪の切り方、伸ばし方が周囲炎予防に重要なのを学べて良かったです。
- ・抗癌剤を使用する前に爪のことや皮膚症状でスキンケアの指導をパンフレットを使って詳しく説明が必要とあらためて感じました。
- ・私たちNsからできるケアについても詳しく受講したいです。
- ・爪の切り方の重要さなど改めて認識できた。Hand foot syndromeの違い（分子標的薬vs抗癌剤）があることが理解できた。
- ・薬剤使用前からの予防が大切だと改めて実感しました。
- ・とても勉強になりました。アナウンスがあまりなかったのもっと早くから知らせてください。
- ・ケアまで講義があり良かった。
- ・なかなか皮膚障害のことについて研修を受ける機会は少なかったのもっとも勉強になりました。
- ・話すテンポ良く聞きやすかったです。資料よくまとまりわかりやすかったです。
- ・化学療法の副作用として発現する皮膚症状に対するケアのポイントがわかった。看護ケアにいかしていきたい。

7. 今後、開催してほしい研修などがあれば記入ください。

- ・ケモのレジメンについて
- ・がん患者さんの精神的ケアについての講演

がん診療連携拠点病院研修会

乳がんに関する 早期診断のための研修会

講師：玉城 研太郎先生
(那覇西クリニック診療部長)

日 時：2014年10月23日（木）19：00～20：30

場 所：琉球大学医学部 臨床講義棟 1 階小講義室

対 象：がん医療に携わるすべての方

参加費：無料 / 申込不要

主催：琉球大学医学部附属病院

共催：沖縄県がん診療連携協議会・研修部会、那覇市立病院、
北部地区医師会病院、沖縄県立中部病院、沖縄県立八
重山病院、沖縄県立宮古病院

お問合せ先

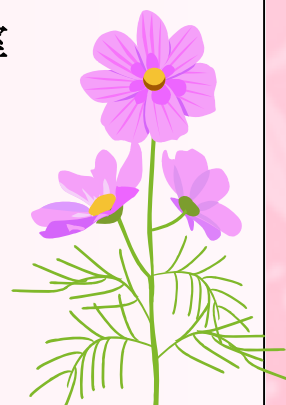
琉球大学医学部附属病院がんセンター

事務担当：がんセンター 下地

TEL：098-895-1368 FAX：098-895-1497

URL：<http://www.ryukyucc.jp/>

E-mail：mail@ryukyucc.jp



平成26年10月23日

乳がんに関する早期診断のための研修会報告書

日 時：平成26年10月23日（木）19：00～20：45

場 所：琉球大学医学部 臨床講義棟1階小講義室

参加者：受講者23名（アンケート回収19名）、スタッフ2名

（医師8名・看護師7名、放射線技師3名、臨床検査技師2名、その他医療関係者3名）

講演者：玉城 研太郎（那覇西クリニック 診療部長）

演 題：乳がんに関する早期診断の為の研修会

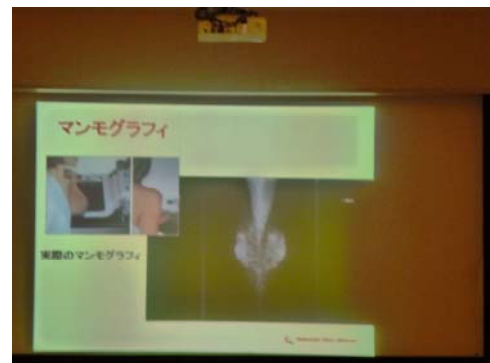
座 長：増田 昌人（琉球大学医学部附属病院 がんセンター長）

対象者：がん診療に関わる医療従事者

主 催：琉球大学医学部附属病院

共 催：沖縄県がん診療連携協議会・研修部会、那覇市立病院、県立中部病院、
北部地区医師会病院、県立八重山病院、県立宮古病院

＊講演会終了後に活発な質疑応答があった。



「乳がんに関する早期診断のための研修会」 アンケート

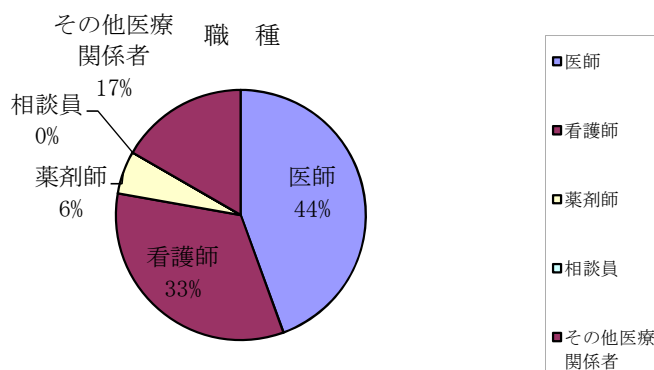
期 日：平成26年10月23日（木）19時00分～20時45分

場 所：琉球大学医学部 臨床講義棟1階小講義室

参加者：23名（アンケート記載19名）

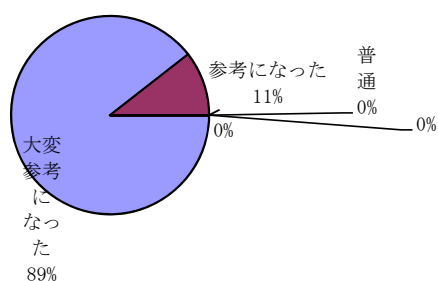
Q1. あなたのご職業を教えてください。

医師	8
看護師	6
薬剤師	1
相談員	0
その他医療関係者	3



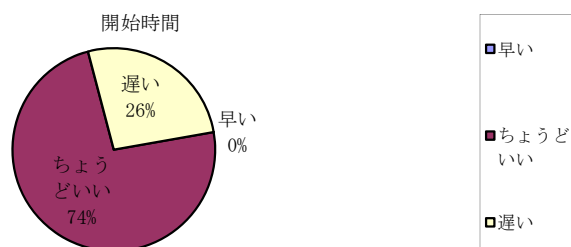
Q2. 本日の研修会は参考になりましたか。

大変参考になった	17
参考になった	2
普通	0



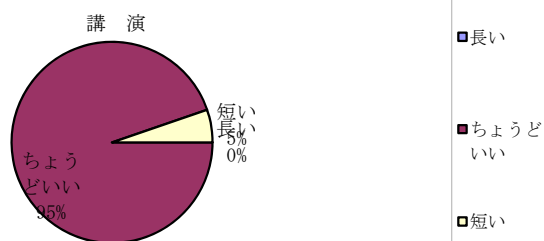
Q3. 講演時間はいかがでしたか。

早い	0
ちょうどいい	14
遅い	5



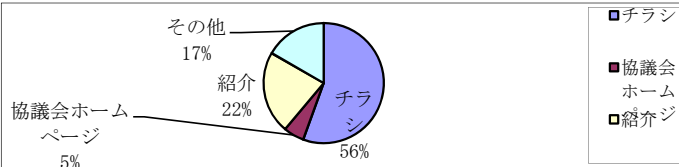
講演

長い	0
ちょうどいい	18
短い	1



Q4. 今回の研修は何でお知りになりましたか。

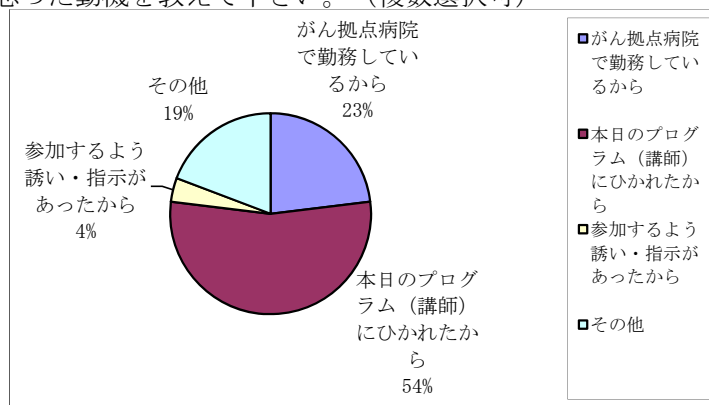
チラシ	10
協議会ホームページ	1
紹介	4
その他	3



Q 5. 今回の研修会を受講しようと思った動機を教えてください。（複数選択可）

がん拠点病院で勤務しているから	6
本日のプログラム（講師）にひかれたから	14
参加するよう誘い・指示があったから	1
その他	5

・勉強になると思ったから



Q 6. 今後、研修会でやってほしいテーマがあれば教えてください。

- ・子宮がんに関して
- ・化学療法と緩和ケアについて
- ・マンモの造影について
- ・乳腺超音波の研修会
- ・画像診断の研修会（マンモ/超音波/CT/MRI）リンクしながら
- ・現場での具体的な早期診断、治療を教えてください。
- ・県内で気軽に行ける研修会を
- ・琉大以外で活躍されている医師の講演

Q 7. 本日の研修会に関するご意見、ご感想をお聞かせください。

- ・玉城先生の熱意が伝わるユーモアのあるお話でとても楽しく勉強できました。
- ・現状を知るよい機会となった、病理・コホート含め様々な話題で大変おもしろかった。
- ・とても分かりやすく興味のある内容でした。
- ・仮説についてもおもしろいとおもいました。
- ・触診はやめましょう
- ・沖縄県の乳がんに関するデータ解析など、最新の情報が大変勉強になりました。
- ・良い講演会でした。
- ・乳がんに対して漠然とした恐怖心があったのですが、先生のご説明を聞いて自分で出来る対策予防がある事が分かり安心した

平成 25 年度第 2 回沖縄県がん診療連携協議会・研修部会議事要旨

[日 時] 平成 26 年 9 月 18 日 (木) 16:10～17:40

[場 所] 琉球大学医学部附属病院 がんセンター

[参 加 者] 6 名: 喜舎場朝雄 (沖縄県立中部病院)

増田昌人 (琉大病院がんセンター)

下地孝子 (琉大病院看護部)

尾崎信弘 (沖縄県立八重山病院)

吉澤龍太 (那覇市立病院)

我如古春美 (北部地区医師会病院)

[欠 席 者] 5 名: 宮国孝男 (那覇市立病院)

池間龍也 (沖縄県立宮古病院)

山城篤 (那覇市立病院)

伊藤昌徳 (エムスリーマーケティング株・
ぼたん薬局)

仲真良重 (会営薬局うえはら)

[陪 席 者] 1 名: 下地亜樹絵 (琉大病院がんセンター)

協議に先立ち、平成 26 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会・研修部会議事要旨が承認された。

報告事項:**1. 平成 26 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会・研修部会議事要旨について**

前回の研修部会の議事要旨を基に、報告事項と協議事項の内容確認が部会長の喜舎場先生より行われた。

2. 今年度の研修部会委員一覧について

本日の出席委員 (6 名) の出欠と研修部会委員の確認が行われた。

3. 各種研修会の報告について

(1) 9 月 17 日 (水) に那覇市立病院で行われた「化学療法とその副作用について」吉澤委員より報告された。

(2) 9 月 6 日 (土) に那覇市立病院で行われた「細胞検査士養成講習会」、「細胞診断学講演会」の報告が喜舎場会長より開催済報告がなされた。

(3) 6 月 26 日 (木) に琉大病院で行われた「化学療法の副作用対策に関する研修会報告」が増田委員より報告された。前年は、県医師会の方で行われたが人数が少ない為、今回は琉大看護部を借りての会議となったが、参加人数も多く大好評であった。

(4) 下地委員より、前回の研修会で病棟看護師からのアプローチで参加されるドクターが増えたとの報告があり、委員のみなさんからそれは必要な事であるという意見があった。また、レベルアップを図るより基本ベースでチームとして今困っている事で関心がある事に焦点を当ててから次のステップに進んで欲しいとの報告があった。

(5) 吉澤委員より、口腔ケアの口内炎も治療より疼痛コントロールも含めた話をすると広がるのではないかという話があった。来月中部病院で開かれる研修会でやって欲しいとの勧めもあった。

- (6) 7月下旬に中部病院で行われた「大腸がんの放射線治療と副作用に関する研修会」の報告が喜舎場部会長よりあった。
- (7) 全委員より、次回の議題の案として口内炎、乳がんのラジエーション、放射線治療、意見の分かれるところを研修会にしてはどうかという話があった。
- (8) 全委員より、外来化学療法室についての意見交換があった。
- (9) 下地委員より外来で告知や病状説明をする際の医師や看護師の現状の問題点を提起し、これからの課題として取り上げて欲しいとの要望に尾崎委員や増田委員と協議がなされた。
- (10) 看護師も資格だけではなくエキスパートになれるようなシステム作りと役割を持たす必要があるとの意見があった。
- (11) 増田委員より「がんリハビリテーション研修会の沖縄県開催について」の代理報告があった。
- (12) 研修会の報告書を協議会用に作って頂くようにとの指示があった。

4. その他

増田委員より、表面に出てくるがんの臭いにいいという GM-Clean50 の商品の紹介が行われた。

協議事項：

1. 部会の再編について

増田委員より、がん政策部会の7つの部会を再編してはどうかという要望があった。

2. 専門資格の更新に必要な研修会の開催について

増田委員より、医師以外のメディカルスタッフが県内で点数が取れないので、手続き等を行えば点数が取れるというシステムを作ってはどうかという提案があった。

3. 今年度の事業計画と部会予算（ロジックモデルの改訂作業も含む）

施策の7、8が宮国副部会長により改訂された。

4. 次回の開催日程について

第3回研修部会は 平成27年1月22日（木） 16：00～
開催予定である。

5. その他

次回、部会開催時に国がん主催の研修会に参加した人数について報告して欲しいとの要望が増田委員よりあった。